

科目区分・分類	一般・講義	対象学科名・学年	両専攻 2年	科目コード	87901201
科目名	倫理学特論 Selected topics in Ethics				
担当教員	中村 博雄				
単位数(時間数)	必修 前期 2単位 (30時間)	学習・教育目標との対応	(B-1)(B-2)		
授業の目的と概要	「技術者」とはいかなる存在であるかを考える授業である。技術者には、専門化された知識により、市民にインフォームドコンセントを行う責務がある。一方で、技術者にとっても予測できない不確実性が存在する。不確実性の上立つことに自覚し、技術者として取るべき行動や判断の仕方について学ぶことが目的である。				
先修科目					
後修科目					
備考	日常の出来事や社会現象の中に、倫理的課題を見出す想像力および、物事を自ら考え抜こうとする論理的思考力を常日頃から養うことが重要となる。そのため講義の中では、クリティカルシンキングの実践なども取り入れる。				
	授業項目	時間	内容		
1	倫理/技術者倫理とは何か?	2	技術者が従うべき倫理・技術者が遵守すべき法の位置づけ・・・技術者倫理の特殊性を理解する。		
2	「正しさ」は動機にあるのか?結果にあるのか?	2	道徳義務論と功利主義・・・倫理的判断基準について。 ～フォード・ピント事件～		
3	市民として、専門家としてどう行動すべきか?	2	徳倫理学・・・市民的徳と専門家集団のあり方。～薬害エイズ事件～		
4	【事例研究1】～水俣病～	2	厳密知と「予防原則」・・・潜在的なリスクの科学的なエビデンスがない場合、専門家はどのよう行動すべきか。		
5	誤った命令に従った者に倫理的責任はないだろうか?	2	映画『スペシャリスト』を見て考える(1)・・・組織の中における個人とは。～アイヒマン裁判～		
6	アイヒマンの倫理的責任はどこにあるのか?	2	映画『スペシャリスト』を見て考える(2)・・・政治における服従と支持。～アイヒマン裁判～		
7	技術者は全てを予測できるのだろうか?	2	不確実性と技術倫理の特殊性(1)・・・技術者が直面する不確実性の問題について。～スペースシャトル事故～		
8	【事例研究2】～放射能リスク～	2	リスク認知と説明責任・・・将来的なリスクをどのように見積もるか。そのリスクをどのように市民に説明するか。		
9	どのような技術を開発すべきか?	2	不確実性と技術倫理の特殊性(2)・・・研究開発任務、製品誤使用の可能性と技術者の製造責任。		
10	食品添加物は「有害」か?	2	ゼロリスクと実質安全・・・「安全」と「安心」の差異について。～食の安全と安心～		
11	【事例研究3】～遺伝子組み換え作物～	2	複合的問題・・・環境/人体/生物多様性/企業活動のどこに問題があるのか。		
12	グローバル企業の倫理的責任とはなにか?	2	グローバルな正義(1)・・・先進国企業の海外進出にどのような課題があるかを考える。		
13	先進国による搾取か?	2	グローバルな正義(2)・・・「ファストファッションの裏側」を考える。～労働者の人権問題～		
14	【事例研究4】～外国人技能実習制度～	2	海外からの労働力受け入れに関する正義の問題を考える。		
15	まとめ	2	あるべき技術者の姿とは。		
前期期末試験					
学習・教育目標を達成するために身に付けるべき内容	社会や自然において、技術および技術者が果たしてきた役割を理解し、自らの言葉でその特性を表現・論述できること。(B-1)地球環境や社会に対して技術者が及ぼすグローバル規模での影響や法的・倫理的責任を理解し自覚できること(B-2)。				
成績評価	事例研究についてのグループ発表(30%)・ディスカッションと講義内容へのコメント(30%)・学期末レポート(40%)により評価し、60点以上を合格とする。				
教材	教科書：指定しない。授業中にプリントを配布する。参考書：『科学技術をよく考えるクリティカルシンキング練習帳』伊勢田哲治・戸田山和久・調麻佐志・村上祐子編、名古屋大学出版会、2013年。『技術者倫理とリスクマネジメント』中村昌允、オーム社、2012年。				

オフィスアワー

水曜日14:30～16:00，管理・一般科棟3F西 鬼頭葉子教員室．面談日時は，伝言メモ（研究室ドア横）やメールでの事前連絡によって調整する．